

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0 建築物の環境品質・性能						3.0
Q-1 室内環境			0.40			3.3
1 音環境		3.0	0.15	2.7	1.00	2.8
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.29	
1.1.1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.3	0.50	
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
1.2.2 界壁遮音性能(軽量衝撃源)	遮音性能TLD-44の間仕切壁設置	4.0	-	4.0	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.21	
2 温熱環境		2.6	0.35	3.0	1.00	2.8
2.1 室温制御		4.2	0.50	4.2	0.50	
2.1.1 室温設定	各住戸ごとに個別パッケージエアコンの設置	5.0	0.60	5.0	0.60	
2.1.2 換気・加湿・除湿制御性		3.0	0.40	3.0	0.40	
2.1.3 外皮性能		3.0	-	3.0	-	
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	-	3.0	-	
2.1.5 温度調節範囲		3.0	-	3.0	-	
2.1.6 温度制御		3.0	-	3.0	-	
2.1.7 湿度制御		3.0	-	3.0	-	
2.1.8 湿度制御		3.0	-	3.0	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		3.2	0.25	3.4	1.00	3.3
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.4	0.30	
3.1.1 昼光率	大きな窓を設置	3.0	0.60	5.0	0.50	
3.1.2 方位別開口		3.0	-	1.0	0.30	
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30	
3.2.1 グレア対策		2.0	-	4.0	-	
3.2.2 昼光制御	カーテン・庇を組み合わせて制御	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.3.1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3.2 照度均等性		3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御	事務所にてリモコン一括制御可能	5.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		4.2	0.25	4.5	1.00	4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63	
4.1.1 化学汚染物質	基本的にF 規格の材料を使用	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.1.2 化学汚染物質		3.0	-	3.0	-	
4.1.3 化学汚染物質		3.0	-	3.0	-	
4.1.4 化学汚染物質		3.0	-	3.0	-	
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38	
4.2.1 換気量	大きな窓を設置	3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	5.0	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.4 換気設備		3.0	-	3.0	-	
4.3 運用管理		3.0	-	3.0	-	
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	-	3.0	-	
4.3.2 喫煙の制御		3.0	-	3.0	-	
Q-2 サービス性能			0.30			3.1
1 機能性		4.6	0.40	2.6	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ		5.0	0.60	2.0	0.60	
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	2.0	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	2.0	-	
1.1.3 バリアフリー計画	段差なし、各所手摺設置等配慮	5.0	1.00	2.0	1.00	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	3.5	0.40	
1.2.1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-	
1.2.3 内装計画	内装計画の段階でマテリアルボード等による検討を行う。	4.0	1.00	4.0	0.50	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.7	0.33			
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.29			
2.2.2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		1.0	0.12			
2.2.3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29			
2.2.4 主要設備機器の更新必要間隔	キュービクル・自家発電装置等	4.0	0.29			
2.3 建物の更新						
2.3.1 屋上・屋根・外壁仕上げ材の更新						
2.3.2 配管・配線材の更新						
2.3.3 主要設備機器の更新						
2.4 信頼性		3.2	0.19			
2.4.1 空調・換気設備		1.0	0.20			
2.4.2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
2.4.3 電気設備	非常用電源の設置等	5.0	0.20			
2.4.4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
2.4.5 通信・情報設備	通信手段の多様化を図っている	4.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.6	1.00	2.7
3.1	空間のゆとり		-	-	2.2	0.50	
1	1 階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
2	2 空間の形状・自由さ		-	-	1.0	0.40	
3.2	3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3	3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1	1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1	1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2	2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.1
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1	1 建物の熱負荷抑制		3.0	0.40	-	-	3.0
2	2 自然エネルギー利用		2.5	0.20	-	-	2.5
2.1	2.1 自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50	-	-	
2.2	2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3	3 設備システムの高効率化	省エネルギー法に適合	4.7	0.40	-	-	4.7
4	4 効率的運用		-	-	-	-	-
4.1	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1	1 水資源確保		2.2	0.15	-	-	2.2
1.1	1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	1 雨水利用システム		3.0	1.00	-	-	
2	2 雑排水利用システム		-	-	-	-	
2	2 低環境負荷材		3.4	0.85	-	-	3.4
2.1	2.1 資源の再利用効率		3.6	0.35	-	-	
1	1 躯体材料の再利用効率	電炉鋼の使用	4.0	0.67	-	-	
2	2 非構造材料の再利用効率		3.0	0.33	-	-	
2.2	2.2 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.04	-	-	
2.3	2.3 有害物質を含まない材料	基本的にF 規格の材料を使用	4.0	0.08	-	-	
2.4	2.4 既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18	-	-	
2.5	2.5 部材の再利用可能性	GL工法による内装仕上げ下地の採用	4.0	0.18	-	-	
2.6	2.6 フロン・ハロンの回避		3.0	0.18	-	-	
1	1 消火剤	ハロゲン消火剤の非使用	4.0	0.33	-	-	
2	2 断熱材		2.0	0.33	-	-	
3	3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.5
1	1 大気汚染防止		3.0	0.10	-	-	3.0
2	2 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.10	-	-	3.0
2.1	2.1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2.2	2.2 振動		3.0	0.33	-	-	
2.3	2.3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3	3 風害、日照阻害の抑制		2.3	0.15	-	-	2.3
3.1	3.1 風害の抑制		2.0	0.70	-	-	
3.2	3.2 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
4	4 光害の抑制	低反射材料の使用	5.0	0.10	-	-	5.0
5	5 温熱環境悪化の改善		1.0	0.30	-	-	1.0
6	6 地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25	-	-	3.3
6.1	6.1 雨水処理負荷抑制		-	-	-	-	
6.2	6.2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
6.3	6.3 交通負荷抑制	適切な駐車・駐輪台数の確保	4.0	0.33	-	-	
6.4	6.4 廃棄物処理負荷		3.0	0.33	-	-	

LR-1 用途別得点表		集合住宅	-	-	-	面積按分 総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	3580 m ²	-	-	-	3.0
3	設備システムの	3.0	-	-	-	4.7
	高効率化	ERRによる評価	-	-	-	
	個別設備による評価	4.7	-	-	-	
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-